

2023年度

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	33%	67%	0%	・もう少し広いスペースがあれば、ゆとりがでると思う。 ・室内での対人距離等、トラブルや事故が起きないように配慮されている。 ・指導訓練室のみでは狭く感じるが、必要に応じて個室を使用している。
	2 職員の配置数は適切であるか	83%	17%	0%	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	33%	50%	17%	・事故の可能性を考慮し、出来る対応を行っている。(ドアの取っ手を外す等) ・事業所の所在地が建物の2階で、昇降の手段が階段のみであるため、下肢の機能障害がある場合アクセスが困難。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	・全体で目標が定められている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	83%	17%	0%	・ミーティング等で共有している。 ・要望や意見は共有後、共有ノートに貼られ、確認できるようになっている。 ・Hug(連絡帳)は利用日に公開してほしいとのご意見を頂き、(時間があれば)当日に公開できるように努めている。 ・ご意見やご指摘を頂いた際は即時共有し、全職員で対応を考え、改善が必要であれば改善している。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	33%	50%	17%	・HPにて公表している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	17%	83%	0%	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	・研修やその後の報告会など設けられている。 ・今年度は職員1名につき1度の外部研修と、教室内で障がい特性や問題行動についての対応の研修を行った。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	67%	33%	0%	・面談の結果に応じて支援の方針を決め、共有されている。 ・個別支援計画作成にあたって保護者さまにアンケートの配布と、面談の機会を取り、かつご利用者さま本人への聞き取りを行っている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50%	50%	0%	・日々変化があるので、臨機応変に対応せざるを得ない。 ・脳パランサーを使用して、個の特性を計っている。 ・認知機能を数値化できるツールを導入している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	67%	33%	0%	・自分自身があまり立案を行っていないが、職員同士で内容の確認など行っている。 ・毎月活動内容について会議を行い、ご利用者さまの個別支援計画に基づいた活動内容となるようにならぬよう定め、立案している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	・新しい活動を取り入れようとしており、過去の活動とも被らないよう考えられている。 ・ご利用者さまの課題や発達段階に応じた活動を実施するよう工夫している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	83%	17%	0%	・平日取り組みのないことを長期休暇や祭日に計画し、取り組んでいる。 ・平日は学業後になるため室内でできる課題を設定し、休日は課外活動や調理を取り入れ、地域との交流機会や生活スキルの獲得等をねらった活動を行っている。
	14 子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	・1人で取り組む作業やペアで行う運動などを組み合わせて行っている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	・活動の共有や連絡事項等が確認できている。 ・支援開始前にその日に利用する児童の情報や個別に必要な対応、役割分担を共有している。

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	・悪かった点や良かった点の共有がその日の内に振り返りできている。 ・毎日必ず振り返りを行い、ヒヤリハットや支援方法について改善策を話し合う時間を設けている。
	17	日々の支援に関して、正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	83%	17%	0%	・記録の際、5w1hを意識して書いている。改善の余地がある。 ・振り返りで共有された情報をサービス提供記録や職員共有ノート等に記録している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	・モニタリングを通して情報共有が行われている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	50%	50%	0%	・障害児相談支援事業所を利用されているご利用者さま不在。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	50%	50%	0%	
	21	学校と情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	83%	17%	0%	・施設での様子や学校での情報を共有できている。(お互いに) ・下校時刻の確認が必要な場合や、対応や様子で気になることがあった際は保護者さまの同意を得ながら連絡を行っている。また、送迎時にはその日の様子を伺っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0%	83%	0%	・医療的ケア児不在。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0%	83%	0%	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0%	67%	17%	・該当児童不在。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0%	67%	17%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	33%	50%	0%	・自由時間に公園へ行った際、地域の方々と遊び交流する機会を作っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	33%	33%	17%	・今年度は戸塚区障がい児通所施設の連絡部会へ4回参加。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	・日ごろの様子や活動の様子が共有できている。 ・気になる様子や対応について情報を共有し、共通理解を育てながら支援する心がけている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0%	67%	17%	・研修などで保護者さまへの伝え方や情報を共有し、適切な声かけを行えるようにしている。 ・ご助言を求められた際や参観・面談の際には事業所の見解を伝え、練習会を設ける等の取り組みは現在行っていない。
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	83%	17%	0%	・事前の説明や疑問に対する回答がなされている。

保護者への説明責任等	31	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	67%	33%	0%	・連絡ツールを使ったやり取りの際に適切な声を心がけている。 ・事業所でご対応可能な範囲で提案を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	33%	50%	0%	・保護者会という形では行っていないが、参観週間実施の際、保護者さま同士で交流できるような機会を設けている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	・努力している。 ・ご意見等はすぐに共有し、必要な対策を行えるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	67%	33%	0%	・毎月活動予定を出し、内容がわかるようにしている。 ・毎月活動予定を作成し、配布、HPにて公表している。また、休日等のイレギュラーな活動については都度お知らせを発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	・管理には注意を払っている。 ・配布する送迎表は個人を特定できないように伏字にする等工夫を行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	83%	17%	0%	・各個人に応じた声かけができるよう情報共有されている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	17%	50%	33%	・今年度においては感染症対策の観点からも不特定多数が参加できるイベント等は実施していない。しかし今年度より地域活動と称してゴミ拾いの活動を隔月で実施している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	67%	17%	17%	・マニュアル作成と共有が行われている。 ・マニュアルの策定がされたが、周知は不十分であった。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	・避難訓練を行っている。 ・毎年4月と9月に避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	・研修や報告会を通じて見直しが行われている。 ・虐待防止委員会を設置し、研修を行った。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	83%	17%	0%	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	50%	33%	0%	・食物アレルギーの申告がある児童不在。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	83%	17%	0%	・年度末に向けて作成しているはずですが。 ・各事業所のヒヤリハットの共有がなされている。 ・毎日始業前に先週のとヒヤリハットを共有し、今年度は頻発するヒヤリハットについて再発防止のための研修を行った。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス 放課後等デイサービス とことこ戸塚
教室

対象人数(保護者)33人 回答者数 11人 回収 33.3%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	3		やや狭い 「体を動かす活動時に、周囲の物とぶつ かるように感じるので、少し狭いと思う。」 と、本人は話しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1		とても細やかにご対応いただき、感謝し ております。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適 切になされているか	5	2	4	すみません、その観点で施設を見ていな かったので、 わかりません。
適切 な支 援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイ サービス計画が作成されているか	11			
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	1		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会が あるか	3	5	3	週に一回のみの利用なので そのような機会があるのかどうか、 よくわかりません。
保護 者へ の説 明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	2		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題につ いて共通理解ができているか	10	1		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が 支援されているか	4	4	3	保護者会等の機会については、コロナや インフルエンザなど感染症の流行も変 わらずにある現状なので、特に希望は致 しません。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子ども や保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している か	10	1		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	2		大切なことについては、Hugだけでなく 電話や送迎時にフォローがあると助かり ます。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情 報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している か	8	2	1	通所当初は、職員紹介として写真入りの プリントをいただいていたので、子供が 話している先生がどの方なのか等、わか りやすかったのですが、今は配布してい ただいていない為、日頃の送迎時にお 会いする機会が少ない父としては、新し い先生の情報が乏しいので、可能であ れば年度初めや異動などあった際には 最新版を配布していただけたらありがた いです。
非常 時等 の対 応	⑭	個人情報に十分注意しているか	10	1		
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保 護者に周知・説明されているか	7	3	1	
満 足 度	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われて いるか	9	2		
	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	10	1		
送 迎 対 応	⑱	事業所の支援に満足しているか	11			
	⑲	送迎は正しく行われているか	10	1		
運 動 療 育	⑳	運動療育は役に立っているか	7	4		あまり参加していないため
	㉑	今後やってほしい療育はあるか	3	5	3	認知機能強化トレーニング ソーシャルスキルトレーニングの充実

職員による自己評価

A 環境面

スペース及びバリアフリー化の配慮について適切であるという回答はいずれも 33%。職員の研修機会の確保については「はい」が 100%で、十分に実施できた。

B 児童への支援内容

支援開始前の打合せ、支援終了後の振り返り等複数の項目で「はい」が 100%。標準化されたアセスメントツールの使用、ガイドラインの基本活動を組み合わせているか、については「はい」と「どちらともいえない」が同数だが、どのツールや活動が該当するのかわからなかったとの声もあった。

C 関係機関との連携

医療的ケアや卒業後に関わる連携体制に関しては「どちらともいえない」あるいは無回答となっているが、該当する利用者がいないため。

D 保護者への説明責任・信頼関係

保護者との共通理解、苦情対応については「はい」が 100%。保護者同士の連携や、地域に開かれた運営の項目では「どちらともいえない」が半数。

E 非常対応

非常時に備えた訓練・虐待防止の研修は十分に行っている。マニュアルについては、「はい」が 67%となっているが、BCP を職員間で共有した結果と思われる。

保護者による評価

A 環境面

職員配置は十分との回答が 9 割。スペースについてはおおむね確保されているが、「少し狭い」というご意見を頂いた。バリアフリー化の配慮は「はい」「いいえ」がほぼ同数。

B 児童への支援内容

ニーズに沿った利用計画の作成に関しては「はい」が 100%と、適切な利用計画を基にした支援を提供している。活動プログラムの多様さは「はい」が 9 割。児童館など事業所を利用していない児童との交流は「どちらともいえない」が最も多く、45%。

事業所の支援に満足しているか、という項目はご回答いただいた方の中では「はい」が 100%となっている。

C 事業所からの情報発信

保護者同士の連携についてはどの回答もおおむね同数で、保護者会等を「希望しない」とのご意見もある。共通理解や苦情対応については「はい」が 9 割となっており、おおむね適切に行えている。

D 非常対応

マニュアルについては「どちらともいえない」と「いいえ」が昨年度同様 36%で、周知・説明が十分ではないといえる。訓練の実施状況については「はい」が 8 割以上。

事業所内での分析

【共通点】

- ・ 個人情報の取り扱い、活動内容、共通理解については十分に行われている。
- ・ 父母会・保護者会の実施など、保護者同士の連携は支援できているとは言い難い。
- ・ 職員の配置数は適切という評価がほとんど。

【相違点】

- ・ スペースについては保護者さまやご利用者さまからはおおむね確保されている（という評価だが、事業者側は「どちらともいえない」が多い。安全や安心に留意してご利用頂けるように工夫しているためと思われる。しかし、やや狭いとのご意見もあり。
- ・ 非常時の対応に関するマニュアルの周知が不十分。今年度作成を進めており、職員は完成前のものを確認しているため周知が進んだが、保護者さまにはまだ周知ができていない。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・保護者さまへの情報伝達や支援に関するご説明、意思疎通、助言や相談等が十分に行われている。
- ・活動プログラムや支援はニーズに沿ったものになっており、工夫されている。
- ・支援の質の確保のため、職員の情報共有や研修機会の確保を行っている。

事業所の改善点

- ・非常対応等のマニュアルの周知が不十分。
- ・バリアフリー化が不十分。
スペースがやや狭く感じられる。

事業所の改善への取り組み

・マニュアルの周知、徹底

非常時等の対応の周知につきましては契約時にご説明しておりますが、昨年度、書面等で配布してほしいとのご意見もあり、今年度作成を進めておりました。今年度新たに、感染症拡大を防ぎ業務を継続するためのマニュアルを策定いたしました。感染症発生時の対応等につきまして、順次周知を行ってまいります。また、職員のガイドラインの理解を深めるため研修を実施いたします。

・スペースの活用方法を検討

指導訓練室の広さを変えることはできませんが、引き続き安全・安心に配慮し、活動の進行方法・物の配置・動線を工夫して支援を行ってまいります。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年度事業所内で改善に取り組んできた情報共有や振り返りの項目により評価が得られ、支援の質の向上にも繋がったと思われます。

また、昨年度より引き続きとなりますが、家庭連携に関しては保護者さまのご協力の賜物でございます。

この場を借りて心より感謝申し上げます。

頂いたご意見につきましては迅速に対応し、引き続きご満足いただける支援を提供できるよう努めてまいりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。